

長塀山遭難(2013年8月)

62歳女性が単独で上高地から蝶ヶ岳へ向かう。帰宅予定を過ぎても帰らないので警察に捜索依頼し、10日後に登山道から約1km離れた長塀沢で遺体を発見した。



解説

稜線が平坦で幅が広く、地形がはっきりしない長塀尾根。獣道のような枝道に迷い込んだのだろうか？

「あれっ？おかしい？」と思っても単独行動は冷静な判断をさせてくれない。焦りが焦りを招いてしまう。冷静に考えれば、同ルート下降の登山計画であるため、「沢を下ってはいけない。尾根が登山道だ。」と思うはずである。しかし、道迷いは冷静さを失い、正しい行動をとることができないのだ。

間違った道は「あれっ？」と思うことがある。しかし、「そのうちに正しい道が現れ、何とかなるだろう？」と自分を励まし、取り返しのつかない行動をとってしまう。そして、最悪なパターンは、急な沢や滝が現れ「誰か、助けて！」となってしまうことだ。この時は、戻る体力や気力も失っていることも多い。

単独行は慎重の上にも慎重の行動をとってもらいたいし、どん欲に読図技術を学んでほしい。